

スライドの作り方 (44p)

- ・タイトルは研究内容の要約であるので具体的かつ簡潔にすること (24p)
- ・場合によっては副題をつける
- ・抽象的なタイトルは、
タイトルとしてふさわしくないのでダメ
- ・文字はゴシック体 (明朝体は見にくい)
- ・スライド番号は必ず入れること

所属 筑波大学システム情報系 (32p)

名前 上市 秀雄

指導教員名 (卒論、修論、博論の時)

学会で発表する場合にはメールアドレスを入れるとよい

2

研究論文の構成

背景 先行研究	方法
先行研究の 問題点	結果 考察
目的	まとめ 今後の課題 参考文献

- 研究論文には以下が必要
 - － 先行研究
 - － 先行研究の問題点
 - － 目的
 - － 方法
 - － 結果
 - － 考察
 - － まとめ
 - － 今後の課題
 - － 参考文献
- 上記の構成でないものは、研究論文ではない

背景

- 現在、〇〇に関して社会問題になっている
- ××に関する需要が高まっている など
 - 例えば□□という問題が存在する

・抽象的な話をして、
その後具体的な内容にするとわかりやすい(24p)

背景では(28p)

- ・あなたの研究分野に詳しくない人にも
理解しやすく、また興味を持ってもらえるように
述べる必要がある

先行研究

- 〇〇と××の関連性の検討(ABC, 19xx) (32p)
 - 〇〇が××に影響する(28p)
- ◇◇が○△に及ぼす影響を検討(Xyz, 200x)
 - ◇◇の人ほど、○△である

・出来るだけ具体的にかくこと(24p)
・「〇〇と××との関係を検討した」と書くだけではダメ
具体的に何を明らかにしたかを書かないといけない

先行研究では(28p)

- ・「なにが、どこまで明らかとなっているか」を書くこと
- ・自分の読んだ文献を、ただ羅列するだけでは意味が無い
- ・あなたがどれだけ文献を読んだかには興味はない

先行研究の問題点

- △■が××に及ぼす影響を考慮していない(32p)
 - ○○間全体の関連性が不明
 - ○○が××にどのように影響するか不明
(Abc, 19xx; Def, 20xx)(28p)
- 具体的に何が不明かを明確に書かないといけない
- どうすれば解決できるのかも明確にする必要がある

問題点では

- 「なにが、不明なのか」,
 - 「どうすれば, その問題点が解決する」のか
- を具体的に書かないといけない。

目的

- 1: △■間の関連性を明確化(32p)
- 2: ○○が××に及ぼす影響を検討
 - 「先行研究の問題点を明らかにする」ということを意識して書くこと
 - **【重要】目的が2つあったら, 結果のまとめも2ついる**

目的では

- 「なにを, どこまで, どのような方法で, 明らかにするのか」のか
- を具体的に書かないといけない。

方法

- 被験者 大学生〇〇人
(男性〇〇人, 女性〇〇人, 不明〇〇人)(32p)
- 調査時期 20xx年xx月に質問紙を配布回収
- 分析方法 共分散構造分析法(Amos XX使用)

方法では

- ・被験者, 実験方法(調査方法),
質問項目, 実験機器など,
この研究を再現するために必要な事柄を全て書く。

質問項目または実験手続き

- クリティカルシンキング(〇〇, 1999)
 - 客観性 : 偏りのない判断をする
 - 証拠の重視 : 証拠の有無にこだわる
- :
(4因子, 計15項目, 5段階評定)

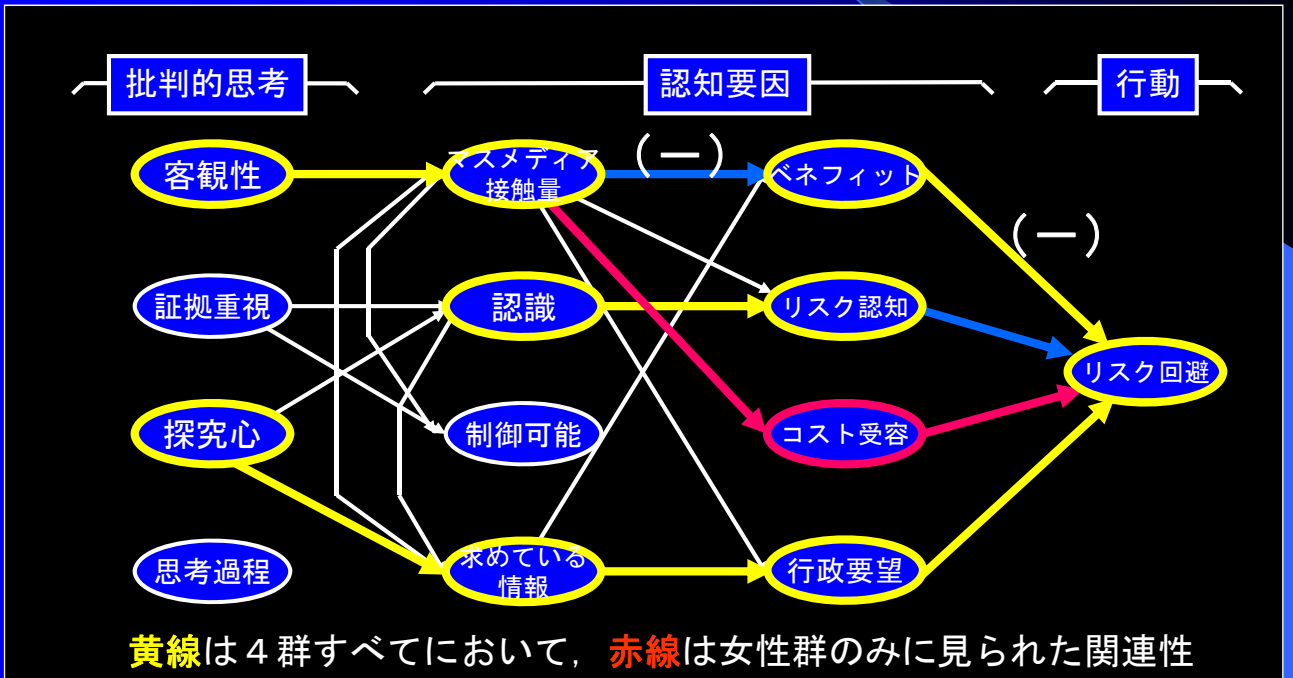
質問項目では

- ・具体的な質問内容, および
何段階尺度で評定させたかは 必ず書くこと。

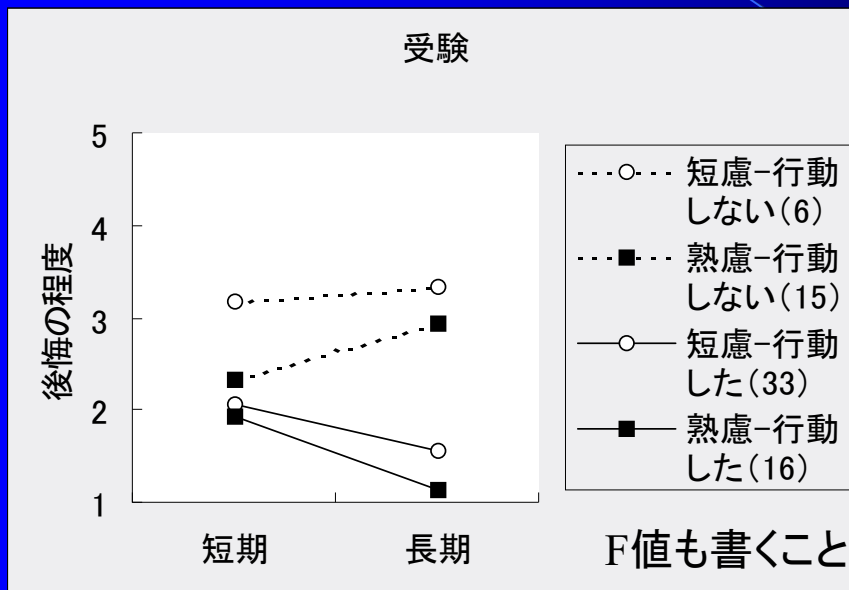
結果

結果には
キャプションをつけること

クリティカルシンキングが内分泌攪乱物質の リスク認知とリスク回避行動に及ぼす効果



〇〇が××に及ぼす影響



できればExcelの図を
そのまま使わない。
自分で作成する

結果では(28p)

図は大きく書く. 図の下(または横)に結果の要約を書く

考察

- クリティカルシンキングは認知要因を介し、回避行動に影響する(36p)
 - 偏りのない判断をする人ほど、ニュースなどのメディアに接触する傾向が高くリスク回避のためのコストをいとわないので、リスク回避行動(浄水器の設置等)を取る(32p)
- ■×は○○に影響する
 - ■△の人ほど、○×である傾向が高い
 - ○■の人ほど、△○である傾向は低い

考察では、結果からいえることや根拠に基づいた自分の考えを簡潔に書く

まとめ

- 1: ○○間全体の関連性(36p)
 - ××は△△を介し、■○に影響する(32p)
- 2: ■×は○○に影響する
 - ■△の人ほど、○×である傾向が高い
 - ○■の人ほど、△○である傾向は低い
 - ・ 目的を検証した「結果」であることがわかるように書く
 - ・ 【重要】目的と結果は対応させること

結論では

・「なに」が、「どこまで」、「明らかにになった」かを簡潔に書くこと。

今後の課題

- 1: 状況を一般化する必要がある(36p)
 - 様々な状況において, 関連性を比較する(32p)
- 2: 提案したモデルを実験およびシミュレーションで検証する必要がある

今後の課題を書くには,
「自分の研究の問題点を明確に理解」しておく
必要がある

- ・ただし, 自分の研究を否定するのではなく,
「こうすればもっと良い研究になる」ということが
わかるように, 肯定的に書くこと

参考文献

- 口頭発表では参考文献スライドは必要ない
 - しかし時間がたつと, 自分がどの研究を引用していたのかわからなくなるので作成しておく, 後で便利